

令和2年(2020年)度第8回日本科学教育学会研究会(東海支部開催)プログラム

[テーマ] 新しい学びに向かう科学教育研究

[日時] 令和3年(2021年)6月26日(土)

[会場] オンライン開催(試行)

[日程]

9:00~ 9:30 受付(発表者接続確認テスト)

9:30~ 9:35 開会

9:35~12:00 研究発表・午前の部(第1会場開催)

12:00~13:00 昼食

13:00~15:00 研究発表・午後の部(第1会場開催)

15:00 終了

※1 研究発表あたりの持ち時間は年会の一般研究発表に倣い20分(発表15分, 質疑5分)です。また, 各発表間の切り替えの時間として, 5分設けております。

[研究発表・午前の部 第1会場]

座長 吉川直志(名古屋女子大学)

A01 9:35~ 9:55 小学校4年生理科「ものあたままり方」における多様な視点からの観察が可能な
教具開発

○前田光哉(福井大学大学院) 寺田光宏(岐阜聖徳学園大学)

A02 発表中止 探究的な理科学習プログラムの開発と探究を支える支援の在り方
—高校化学「酸・塩基と中和」の単元を事例に—

○川上花音(東海大学附属静岡翔洋高等学校) 小林俊行(東海大学)

A03 10:00~10:20 幼児から大人までを対象とした数学と関連付けた敷きつめ題材の参加型展示

○花木良(岐阜大学) 松波雅慶(岐阜大学大学院, 岐阜県立郡上高等学校)

座長 塩澤友樹(岐阜聖徳学園大学)

A04 10:25~10:45 高等学校における統計教育でのソフトの開発に関する研究

○山本雄大(星城高等学校)

A05 10:50~11:10 高大接続: 大学文系学部入試数学必須の動き

○渡辺信(生涯学習数学研究所) 青木孝子(東海大学)

座長 花木良(岐阜大学)

A06 11:15~11:35 STEM時代の「手まきコイルを作る巻線機の制作と実験利用」

—巻線機アタッチメントの工夫と手回し発電機の制作—

○大隅紀和(京都教育大学名誉教授) 梅本仁夫(OES研究所岸和田工房)

A07 11:40~12:00 小学校と大学での空気ロケット発射イベントによる理科教育

○吉川直志(名古屋女子大学)

[研究発表・午後の部 第1会場]

座長 中村琢 (岐阜大学)

A08 13:00~13:20 物理基礎におけるパフォーマンス評価への取り組み

—高等学校における観点別評価の導入に向けて—

○石田智敬 (京都大学大学院) 藤江和也 (岡崎北高等学校) 宮川貴彦 (愛知教育大学)

A09 13:25~13:45 アメリカ化学教育における「エンジニアリングデザイン」の実践

—アメリカ化学会のミドルスクール・レスンプランの分析—

○郡司賀透 (静岡大学)

座長 郡司賀透 (静岡大学)

A10 13:50~14:10 理科授業における探究活動と概念定着の研究

○中村琢 (岐阜大学)

A11 14:15~14:35 幼小接続の視点からみた生活科における資質・能力の育成

—ドイツの「事実教授」を手がかりにして—

○遠藤優介 (筑波大学)

A12 14:40~15:00 生徒立案実験による抗菌薬の環境負荷を計測する授業の実践

—抗生物質による植物の発芽・生長抑制—

○和田重雄 (日本薬科大学) 名取慶 (順天中学校高等学校)